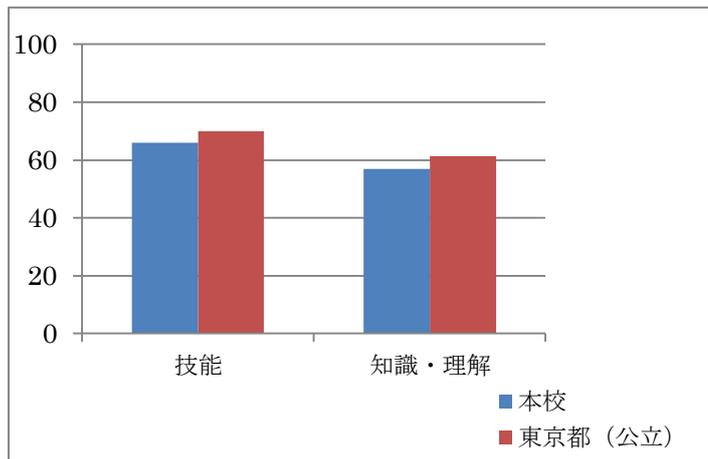


数学（全国学力・学習状況調査）

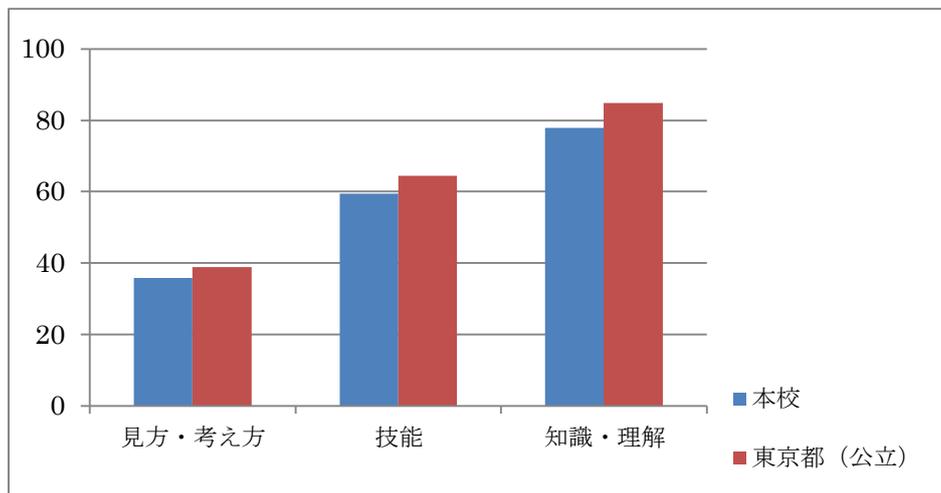
1. 分類ごとの平均正答率

(1) 数学A：主として知識



- ① 「技能」「知識・理解」とともに東京都平均を下回っている。
- ② すべての領域において、東京都平均を下回っている。

(2) 数学B：主として活用



- ① すべての項目において、東京都・全国の平均を下回っている。
- ② 選択式の問題においては東京都平均を上回ったが、その他の形式においては東京都平均を下回っている。
- ③ 全ての領域において、東京都平均を下回っている。

2. 調査問題から見た問題

(1) 数と式

- ・正負の計算に関しては、正答率が高かった。
- ・文字式の計算に関しては、正答率が高かった。
- ・方程式の式をつくる・解くことに関しては正答率が高かった。
- ・その他の問題に関しては正答率が東京都平均を下回った。

(2) 図形

- ・立体図形における平行をとらえる問題に関しては、正答率は高かった。
- ・どの図形を回転させるとどんな回転体になるかをとらえる問題に関しては、正答率が高かった。
- ・錯覚の関係を見極める問題に関しては正答率が高かった。
- ・その他の問題に関しては正答率が東京都平均を下回った。

(3) 関数

- ・どの問題においてもわずかながら東京都平均を下回った。

(4) 資料の活用

- ・他の領域に比べ、最も正答率が低かった。

3. 指導改善のポイント

(1) 数と式

- ①今まで以上に計算練習を取り組ませていく必要がある。
- ②どのようにして計算をしたのか、どうしてその計算方法を選択したのかなど、ただ計算するだけではなく、説明をしたり、工夫をしたりすることを授業の中で考えさせるようにする。

(2) 図形

- ①基本的な知識の理解をより徹底していく必要がある。
- ②基礎だけでなく、様々な視点で図形をとらえたり、他者に説明したりする必要がある。

(3) 関数

- ①表・式・グラフなど基礎的な内容をより徹底する。
- ②比例・反比例・一次関数の表・式・グラフの関係を様々な角度からとらえられるようにする工夫が必要。
- ③より多くの場面で関数を利用して問題解決を行うような授業展開をしていく。

(4) 資料の活用

- ①代表値などの基礎的な知識の理解をより徹底する必要がある。
- ②基礎的な知識を使い、より多くの場面で資料を活用できる力をつける授業を展開していく必要がある。